

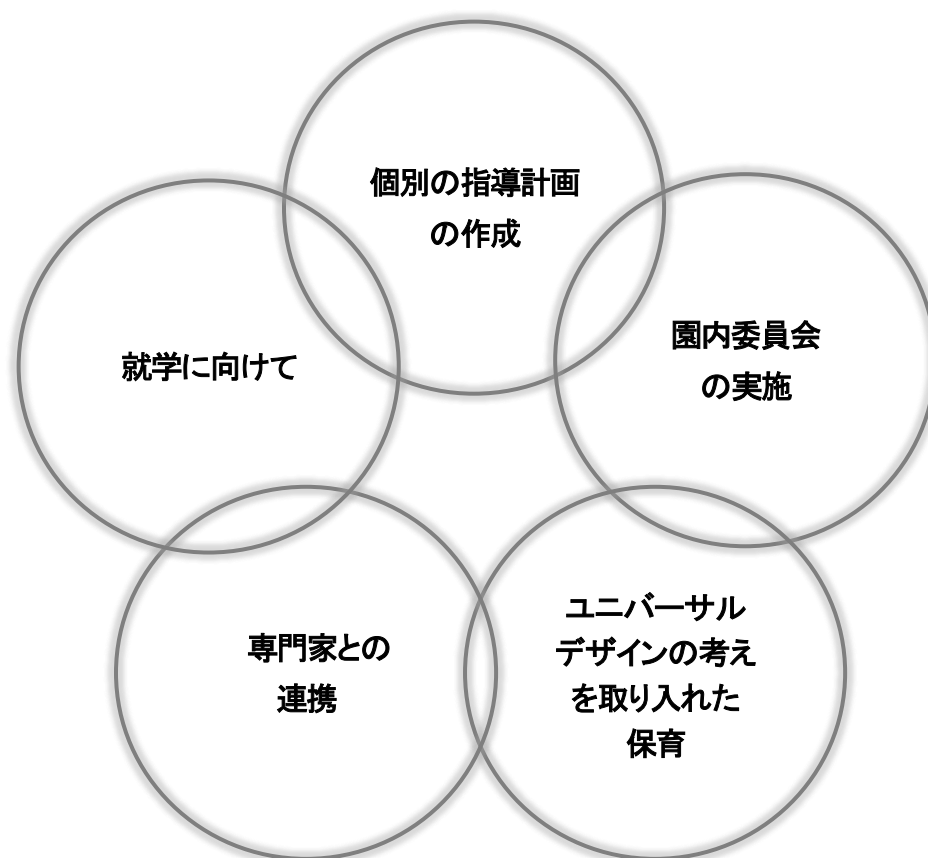


令和4年6月号
杉並区立堀ノ内子供園
園長 高橋 章子

一人ひとりが最大限成長できる子供園

特別支援教育コーディネーター 三好 友世

新年度が始まり、2ヶ月が経ちました。新入園児も進級児も少しずつ新しい学級に慣れ、「自分でできた」ことが増えています。そこには、担任が学級の子どもたち一人ひとりのことを思い、どの子も安心して生活に取り組めるようにした援助や環境の工夫があります。今回はその取り組みとして、本園の5つの特別支援教育の取り組みについてご紹介します。(詳細は別紙にて掲載します。)



杉並教育ビジョン2022『みんなのしあわせを創る杉並の教育』においても、「ちがいを認め合い、自分らしく生きる」ことがうたわれ、“多様性”“ちがいや特性”を互いに認め合うことを杉並区としても大切にしています。堀ノ内子供園でも、『一人ひとりが、安心して最大限成長できること』で個人の多様な力が発揮され、共に支え合う教育を目指していきます。





堀ノ内子供園 5つの特別支援教育の取り組み

個別の指導計画の作成

特別な支援が必要な幼児一人ひとりについて、子供園で効果的な指導を行えるように学級担任が作成している指導計画です(介助員が加配されている幼児は必ず作成しています)。今年度も4月に作成しました。幼児の姿から、長期目標・中期目標、具体的な対応・配慮・支援を立て、学期ごとに振り返り、次の課題を記載します。これを活用し、計画的・継続的な指導や支援を行っています。

園内委員会の実施

ほぼ毎月、園内委員会を実施し、ニーズのある幼児に必要な支援が届くようにしています。一人ひとりに目を向け、学級担任だけでなく職員全員で各学級の状況を把握し、援助や環境の工夫や改善について話し合っています。

ユニバーサルデザインの考えを取り入れた保育

例えば、身支度の手順を分かりやすく絵表示で示したり、1日の生活の見通しを順序立てて表示したり、物の場を絵表示で掲示したり、各学年の実態や発達に応じて分かりやすい環境を整えています。

「障害者の権利に関する条約」で定義されているユニバーサルデザインの考えを考慮すると、「最大限可能な範囲で、すべての子どもがよく分かる保育をすること」であると考えられます。支援が必要な幼児に対して行う工夫が、学級すべての幼児にとってもより分かりやすいものにつながります。この観点から、支援が必要な幼児を含めて学級全体でどうあるべきか考え、一人ひとりが自分で分かって生活できる保育を目指しています。

専門家との連携

杉並区特別支援教育課の巡回相談員が、年に4回園を訪問します。園内の様子を見てもらい、支援の方法を学んだり、必要な支援を評価・改善したりしながら、実際の子供園生活の中での指導に活用しています。子供園は関係機関と連携を取り、子どもたちの発達を多面的に支援できるよう努めています。

就学に向けて

杉並区は、通常の学級・特別支援学級・特別支援学校など、多様な学びの場が整備・充実されています。発達によって、どこで学び、力をつけていきたいかが選択できます。「令和4年 知的障害特別支援学級・済美養護学校見学日程表」を5月に掲示しましたが、就学支援相談においても、園長・担任・特別支援教育コーディネーターが窓口になり、お話を聞いたり、関連機関との連絡・調整を行ったりしていきます。

今月の指導・

うさぎ組

子供園での生活にも慣れてきて、お気に入りの遊びを見つけて自分から遊ぶ姿が見られるようになってきました。お天気が良い日に水を出すと、「冷たいね」「気持ちいい」と話しながら、水や泥の感触の面白さや心地よさを楽しんでいます。保育室では、ウレタン積み木を使って遊び始めました。積み木を並べてその上をぐるぐると歩いてみたり、トラックを作って運転したりして遊ぶことを楽しんでいます。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 保育者と一緒に身の回りのことを自分でしようとする。
- 好きなことや自分のしたいことを見つけて遊ぶ。

梅雨の時期に向かいますが、天気の良い日は水を出しながら、砂場で泥遊びや水遊びを楽しんでいます。また、汚れたり汗をかいたりしたときには着替える習慣をつけていき、保育者と一緒に自分の身の回りのことを進めていかれるようにしていきます。衣類（特に靴下など）には記名がしてあるかどうか再度ご確認ください。よろしくお願いします。

ぱんだ組

5月より空き箱製作が始まりました。空き箱に動物の顔の塗り絵を貼って「ネコちゃんができた！お散歩いってきます。」と遊んだり、「僕はミニカー！」「私もやりたい！」と作ったりし、簡単に見立てて作ることができる嬉しさを感じています。また、友達が作ったものを見て、同じものを作ったり、一緒に持って遊んだりすることで、「友達と一緒に楽しい」ことを感じています。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 保育者や気の合う友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
- 自分の思いを言葉や動きで表して遊ぶ楽しさを味わう。
- みんなで体を動かす楽しさや心地よさを味わう。

今月から水遊びが始まります。水の感触を楽しんだり、解放感を味わったりして、水遊びを楽しめるようにしていきます。食事や睡眠をしっかりと、体調管理をしてください。また、気温が上がり汗をたくさんかきますので、半袖半ズボンで元気いっぱい遊べるようにご協力お願いします。

きりん組

大きなスコップや大型積み木など、年長になって使えるようになったものが増えてきました。友達と一緒に大きな山を作ってトンネルをつなげたり、力を合わせて積み木を運んでお家を作ったりと、友達と一緒に遊ぶことが嬉しい・楽しいきりん組です。また井の頭公園に遠足に行ったことで、楽しかった思い出を遊びの中で再現しようとする姿もあり、作りたいと思ったものをどうやって作ろうか考え、工夫しています。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 「こういうのやってみたい」「こうしたらどうかな」等、自分なりに考えたことに向かい、友達と一緒に試したり工夫したりして遊ぶことを楽しむ。
- 自分の考えを友達に伝えたり、友達の話の聞いたりしながら一緒に遊びを進める楽しさを感じる。

年長組になって2か月が経ちました。楽しいことがたくさんある一方で、疲れも溜まる時期になります。園で頑張っている分、家庭ではゆったりとその気持ちを受け止めてあげてくださいね。



お 知 ら せ

A 安全指導（高井戸警察の指導） 1 日（水）

〈保護者の部〉 登園時の様子を見ていただき、安全な登降園について等のご指導をいただきます。

〈幼児の部〉 道路の歩き方や渡り方など、交通安全についてのご指導をいただきます。（④⑤のみ）

保護者の方は、8：50にお子さんを送ったあと、玄関からホールにお入りください。

〈保護者の部〉 終了後、〈幼児の部〉になります。

B 避難訓練（引き取り） 8 日（水）

『災害時子ども安全連絡網（すぐメール）』を利用し、災害時に備えた引き取り訓練を行います。

詳細は、別紙でお知らせいたします。



C 口腔保健指導（ぱんだ組・きりん組） 9 日（木）

配布しました手紙の通り、

杉並区教育委員会からの依頼のもと、園医（歯科医）と杉並区学校歯科医会の方が来園し、

口腔保健指導をしてくださいます。

D プール開き 21 日（火）

9月2日（金）までの間、プールでの水遊びを行います。

密にならないようグループに分かれて、水遊びを楽しんでいきますので、準備や体調管理その他のご協力をよろしくお願いいたします。

プールバックを持ってくる13日（月）からは、けんこうチェック表の『プールの〇×』欄も記入してください。

詳細は別紙でお知らせいたします。

《お弁当は朝、火を通してからつめましょう》

夏に向かい、徐々に暑い日が多くなり、食中毒が心配な梅雨に入ります。お弁当は必ず、朝、火を通し、冷ましてから蓋をするようにして、蓋に水滴がつかないようにして持ってきてきましょう。

（パッキング付の弁当箱は閉めてから冷めると蓋が開かなくなりますのでご注意ください！）

食中毒予防の3原則！①つけない ②ふやさない ③やっつける

※詳しくは、『6月 食のおたより』をご覧ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、園ではお弁当を集めて管理することはありません。各自で保冷剤を入れる等の工夫を忘れないようにお願いいたします。

（一般的な保冷剤は、繰り返し握ったり触ったりすると、表面が破けて中身が出てきてしまいます。ご家庭では子どもたちに、「保冷剤を触って遊ばないように」とお伝えください。また子どもが扱っても安全なものを持参くださる配慮をお願いいたします。）

※お弁当箱・袋類・ゴムの名前は消えていませんか？ 伸びきっていませんか？
今一度ご確認ください。